



ルー  
テル

# 藤が丘だより

発行 月報委員会 発行日 2020年11月8日

№. 78

あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。

ヨハネによる福音書 8章32節



礼拝献花より

## 御言葉に生きる

御言葉はあなたのごく近くにあり、あなたの口と心にあるのだから、それを行うことができる。

申命記 30章 14節

ルーター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会 牧師 佐藤和宏  
〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘 2-31-21 tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009  
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: [fujigaoka@jelc.or.jp](mailto:fujigaoka@jelc.or.jp)



## シリーズ説教

### 『真理と自由』

牧師 佐藤和宏

ヨハネ8章31節～36節

「宗教」と訳される英語の言葉は、2つのラテン語を語源としていると考えられます。一つは「吟味する」、もう一つは「再び結ぶ」という意味を持つ言葉になります。二つの語源から、宗教には2つの宗教のタイプがあるとされます。一つは「吟味する」という語源を持ち、一つは「再び結ぶ」という語源を持つ宗教です。

今日、主イエスは「真理はあなたたちを自由にする」と言われています。聖書のいう「真理」とは私たちの努力や熱意によってたどり着くようなものではなく、再び結び合わせてくださった方——わたしは道であり、真理であり、命である」と言われた方——にあるとわかるのです。

「自由」ということについて考えてみたいと思います。「自由」と訳される英語には「フリーダム」と「リバティー」があります。「フリーダムは、何か(物事など)からの自由、解放。

リバティーは、何かを行うための自由、解放」。自由という意味を持つ2つの英語を比較していて、私が興味をもったのは、「解放」という意味を持つ自由が、「何かを行うための自由、解放」という意味を示していることでした。どういふことかと申し上げますと、「真理はあなたたちを自由にする」と言う場合、「自由にされた」状態をさして喜ぶべき結論と私たちは受けとめてしまおうでしょう。しかし、真理が私たちを自由にする、解放するということには、さらに言うなら私たちの罪が赦されるということには、「何かをするため」という具体的な神の目的があるというのです。神の真理は、「何かをするようになるために」私たちを自由にし、解放し、罪を赦したのです。ですから、その神の目的に聞き、生きること、これこそ私たちに求められていることなのです。

ルターが著した「キリスト者の自由」の冒頭にある2つの命題はたいへん有名なものになります。ルター研究所が出版した「キリスト者の自由を読む」に新しい訳が掲載されていますが、次のように記されています。

「キリスト教的人間はすべてのものの上に立つ自由な君主であつて、だれにも服しない。」これが第一のものであり、続いて第二は「キリスト教的人間はすべてのものに仕える僕であつて、だれにでも服する。」

キリスト者は罪の束縛から解放され、罪を赦された自由な者だから、何ものにも縛られることはない、という事実。そして同時に、キリスト者はすべての者に仕える僕である、という事実。これらはその内容からすれば、相容れない、まったく逆のことが言われているように思われます。しかし先に「解放」という意味を持つ「自由」には、「何かを行うための自由、解放」という説明があることをご紹介しましたように、私たちが罪赦され、解放された事実には、解放され、罪を赦された私たちが、何かを行うためであるということがわかるのです。そして、私たちが罪を赦された者とされているのは、私たちがすべての人々に仕えるためである、これが「キリスト者の自由」の冒頭で、一見相反するようにみえる命題としてルターが明らかにしていることなのです。

先に触れました「キリスト者の自由を読む」は、ルターの二つの命題から「自由」に始まり「愛の奉仕」で閉じられています。

巻末に座談会が収録されているのですが、江口先生が次の発言しています。「神様は『教会』だけを造られたわけではなく、この『世界』全体を創造されたのですから、教会の維持、信仰者の救いばかりでなく、それこそこの世界の維持、万人の救いをこそ神は意志しておられるのです。」そして、神学校の宮本先生は次のように語っています。「近年、『公共の神学』ということが強調されています。『私』の魂の救いの問題だけでなく、社会全体の魂の救い、現実の改善、助け合い、つまり公共の問題こそ、力強く考えていこうという神学です。」

キリストによって示された真理、真理であるキリストご自身が、その十字架の死によって私たちに罪から解放してくださったのは、私たちがまたすべての人々の隣人となって、自由に、心から喜びをもって仕えていくためなのです。(宗教改革主日)

## 一万タラントンの借金

そこで、天の国は次のようにたえられる。ある王が、家来たちに貸した金の決済をしようとした。決済し始めたところ、一万タラントン借金している家来が、王の前に連れて来られた。しかし、返済できなかった。主君はこの家来に、自分も妻も子も、また持ち物も全部売って返済するように命じた。家来はひれ伏し、『どうか待って下さい。きっと全部お返しします』とさきりに願った。その家来の主君は憐れに思って、彼を赦し、その借金を帳消しにしてやった。マタイによる福音書18章23節-27節

ルーテル藤が丘教会では、第1、第3の水曜日午後1時半から3時頃まで、聖書研究会を開いています。自宅で一人暮らしの私にとって、週の半ば、敬愛する兄弟と共に佐藤先生から聖書のお話を拝聴することは大変至福の時であります。

9月16日(水)は総勢7人の出席があり、いつになく盛況で、先生のまとめた資料を中心に、前半は先生

のお話、後半はいつものように自由な意見交換がありました。

表題の「一万タラントンの借金」(24節)は、当日のテーマの一つで、先生の資料によると一万タラントンは6千万日分、つまり16万5千年分の労働賃金に相当するというのです。日頃、気にも留めず、さりげなく読んでいた「一万タラントンの借金」の記事が「約16万5千年分の労働賃」と聴いて、その額の大きさに本

## 御言葉に生きる

3

私の愛唱聖句



尾〇〇寿

当に驚きました。もっとも、この金額は比喩的表現(23節)とあるので、巨額な数字を額面通りに受け止める必要はないのですが、それにしても莫大な借金に大変興味が募りました。

そこで、この一件がどのような文脈の中に取り上げられているのか、目を凝らしてその先を読んでみると、イエスがペテロの質問に対して、相手の罪を「7の70倍までゆるしな

さい」(22節)の直後に登場します。私たちの耳目を惹くのは、取り立て人の強引なやり口です。

自分の妻子や持ち物全部売り払ってでも、借金を返せと肉薄するので、債務者の方は「ひれ伏して、拝礼し」(26節 田川訳)、すべて返済しますから、少し待ってくださいと、ひたすら懇願するのでこの時の債務者の姿を想像すると、土下座して、額(ひたい)を地べたに擦(なす)り付け、なり振り構わず、お頼み申す、というのですから、想像だにしなかつた相手の講師に、かえって債務者の方が「腸(はらわた)がちぎれる思いがした」(27節 岩波訳)程にびっくり仰天したというのです。予想外の債務者の行為をみて、一万タラントンの借金が棒引きされます。貸し主の気前の良さにも大変驚きます。

ところで、イスラエルの救済史に、民族の罪の赦しの行為として、疵(きず)のない動物の血を祭壇に注ぐ宗教儀礼が連綿と守られてきました。血が民族の罪を贖うという思想です。(レビ記4章)

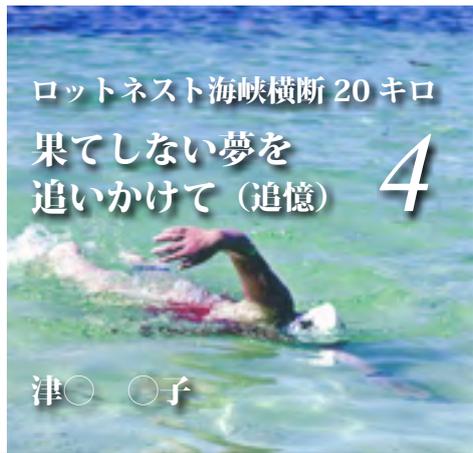
新約時代史において、救済の中心

はイエスの十字架ですが、神の子を十字架に追いやったのは、外でもない人間の罪であって、福音書はその過程を克明に伝えています。(1)一方、憐れみの神はイエスの十字架を黙認されたのです。(マルコ14章39節、その他)十字架は、罪人(ごいにん)としてのイエスの刑死であり、全人類の罪を一手に引き受けられた贖罪死であったのです。

(1)人間の罪の顕在化 神の子イエスの磔刑、20世紀ドイツがユダヤ人を、日本が近隣諸国での残虐行為、他に多数。

## 教会ツイートから

「神よ、速やかにわたしを救い出し、主よ、わたしを助けて下さい。」詩編70編2節  
「速やかに」とありますから、危険のただ中にあるのでしよう。救いは確かに成し遂げられます。しかし、その時は神が選ばれ、それは最もふさわしい時なのです。



ところで、私がロットネスト20キロに出ようと考えるようになったのは、過去5回のデュオの後、還暦を迎えるにあたりもうひとつ何かでき

るかなど。当初は同世代の女友達とデュオをと思ったのだが、なかなか返事をもらえず、それならどこまで一人で行けるものなのか、一つソロをやってみるかな。そこで大貫さんと奄美のときの池畑マネージャーに相談したところ「大賛成」、何でも協力してくださることになった。ところが我が家の用事が多すぎる年になかなか練習できず、半年間は、4キロ、5キロの海レースをぶっつけ本番のように済ませた。10月の奄美にまた池畑さんに同行してもらい、よしこれが済んでからロットのこと



今月の受洗記念日の皆さん

8日 ○野○子姉

15日 名○○代姉

おめでとうございます。

「御言葉はあなたのごく近くにあり、あなたの口と心にあるのだから、それを行うことができる。」申命記30章14節  
 福音伝道会ウェブサイト <https://www.jcbn-japan.org/>  
 フェイスブックで礼拝のライブ中継をしています。(毎日朝11時～10時)

は決めようと出かけた。

10月末、「ロットネストにソロで出たい」と、尾辻コーチに勇気を奮ってお願いし、3ヶ月間練習に打ち込むことにした。主人が学会で行くハワイのコナについて行くのも止めた。

健康診断、歯並びの舌が触れるところは矯正し、鼻炎体質の改善やマッサージなど、忙しくなった。月曜日は距離、タイム、ハード、水曜日はフオーミング、木曜日は4種目、金曜日、土曜日もあり、週に5回の練習をし、海練習もした。練習日は時間より早く入って泳いだり、居残りもした。月末の練習が終わると安堵か、必ず疲れや筋肉痛が出ていた。夜は海に引きずり込まれる夢や重石をつけて沈んでしまう夢をみた。そのうちにだんだん自信ができてきて、今日はどんな課題が出るか楽しみで、わくわくしながらプールに出かけるようになった。コーチを信じ、ひたすら練習してきたことが、喜びとなり、何にも代えがたいものになっていた。ある日、「お蔭様でここまでできました。もう一つ私の望みを聞いて下さい。どうか私の船に乗ってゴールの姿を見届けて下さい」と。(続く)

教会の動向



教会では、密を避けるために、礼拝再開後、第一段階(全体を3グループにわけ)を継続してまいりました。11月29日(待降節第1主日)より、第二段階(全体を2グループにわけ)といたします。初回はBグループの方々がお集まりいただけます。転入の祈りをいたしました。○藤

真○さん(10月25日)、定○子さん(11月1日)。全員で集まれるようになってからと考えておりましたが、目処が立たない現状からそれぞれのグループでの礼拝にて執り行いました。どうぞ、良き交わりにお加えください。

○藤○美さんより、受洗の希望があり、役員会で承認されました。お身体の事情から礼拝はライブ中継に参加されています。準備の学びも始まっています。11月29日の礼拝にて、洗礼式が執り行われる予定です。どうぞ、お祈りください。

引き続き、皆さんとご家族の健康が、主にあつて守られますように、お祈りいたします。(佐藤)